

2011年度（社）大阪青年会議所では、池田理事長の素晴らしいリーダーシップのもと、「凛々しいまち大阪の実現！～為すべきことを為し、共に新たな歴史を刻もう～全ては未来のために」をスローガンに掲げ展開してまいりました。

大阪青年会議所の組織運営を担わせて頂いた専務理事として、大阪青年会議所のメンバーの強固な信頼関係を構築し、800余名のスケールメリットを最大に生かした組織を作りだす事を目的に取り組んでまいりました。

青年会議所の大切な財産は、多くの先輩諸兄が長年にわたり築きあげてきたものであります。これを過去からの遺産として利用し、また、食潰して一年を終えることなく、我々として新たなものを創出し、将来に繋ぐことのできる新たな資産を模索し、取り組みを進めてまいりました。

対外としては、将来に残せる大阪市との共催事業を実施することができ、また、これをきっかけに大阪市を始めとする関係諸団体ともこれまで以上の具体的な協働体制の下、事業を構築すべく新たなステージに入ったものと確信しております。

対内に目を移すと、本年度は、公益法人制度改革に伴う法人格選択の年でした。公益法人格に移行する各地青年会議所が多い中、大阪青年会議所の存在意義を検討し、その潜在的能力を発揮するためには一般社団法人へと進むべき、と10月度の社員総会で決議されました。この事は、制度改革にかかわらず、今まで以上に輝かしい新しい大阪青年会議所に生まれ変わる最初のきっかけであると信じております。

2012年度は、一般社団法人大阪青年会議所としての姿を具現化していかなくてはなりません、大阪青年会議所としての青年会議所たる素晴らしさは失われることのないよう制度改革に対応することが大切だと考えます。

最後になりますが、2011年度は例年にも増して大阪青年会議所への格別のご理解とご協力を賜りました。関係各位並びに会員の皆さまに心よりお礼を申し上げます。

大阪市との協働体制という 新ステージに入ったと確信。



専務理事

中川翼